



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 株式会社 コロワイド 上場取引所 東
 コード番号 7616 URL <https://www.colowide.co.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）野尻 公平
 問合せ先責任者 （役職名）経営企画本部長 （氏名）安井 隆志 TEL 045-274-5970
 半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

（百万円未満四捨五入）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		事業利益※1		EBITDA※2		税引前中間利益		中間利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	141,467	7.0	5,406	51.4	9,701	23.2	3,307	88.0	1,786	41.3
2025年3月期中間期	132,199	12.0	3,571	10.2	7,872	10.9	1,759	△60.4	1,264	△55.5

	親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額		基本的1株当たり中間利益	希薄化後1株当たり中間利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	1,318	242.7	1,612	16.9	7.13	7.13
2025年3月期中間期	385	△83.3	1,379	△55.5	△1.57	△1.57

※1 事業利益＝「売上収益－売上原価－販売費及び一般管理費」により計算しております。

※2 EBITDA＝「事業利益＋減価償却費及び償却費（使用権資産の減価償却費を除く）」により計算しております。

尚、2026年3月期中間期のIFRS営業利益は、5,121百万円となりました。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	336,565	87,563	77,770	23.1	585.19
2025年3月期	312,226	87,108	77,537	24.8	583.46

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

上記「配当の状況」は普通株式に係る配当状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当については、後述の「優先株式の配当状況」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		事業利益		EBITDA		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	288,427	7.2	11,301	21.5	21,170	14.5	3,266	44.8	2,129	70.4
										円 銭
										16.13

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) Seagrass Holdco Pty Ltd.

除外 1社 (社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数
(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	106,453,541株	2025年3月期	106,453,541株
2026年3月期中間期	147,425株	2025年3月期	170,850株
2026年3月期中間期	106,286,016株	2025年3月期中間期	89,507,196株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数
(中間期)

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 当社グループは、国際会計基準（IFRS）を適用しております。

(2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

優先株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳及び配当金総額は以下の通りです。

優先株式

(基準日)	1株当たり配当金					配当金総額 (合計)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	3,252,730 00	3,252,730 00	97,581,900 00
2026年3月期（予想）	—	—	—	3,847,270 00	3,847,270 00	115,418,100 00
第2回優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	3,752,730 00	3,752,730 00	112,581,900 00
2026年3月期（予想）	—	—	—	4,347,270 00	4,347,270 00	130,418,100 00
第3回優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	3,500,000 00	3,500,000 00	315,000,000 00
2026年3月期（予想）	—	—	—	3,500,000 00	3,500,000 00	315,000,000 00

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約中間連結財政状態計算書	4
(2) 要約中間連結損益計算書	6
(3) 要約中間連結包括利益計算書	7
(4) 要約中間連結持分変動計算書	8
(5) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(会計方針の変更に関する注記)	14

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、日米関税交渉を巡る一応の合意を受けて不確実性が低下し、過度に悲観的な見方が後退したことから、企業の景況感は大企業を中心に緩やかながら回復が継続しております。一方、世界経済におきましては、中国経済の長引く低迷に加え、欧州や中東で続く地政学リスクの高まり等による影響もあり、先行きは不透明なまま推移しております。

外食産業におきましては、物価高騰の長期化や慢性的な人手不足によるコスト上昇に相変らず振り回されております。給与所得は改善が進んでいるものの物価動向に追いつかないため、実質賃金はマイナスのままとなっており、節約と贅沢のメリハリをつける「メリハリ消費志向」が顕著になっております。

このような状況の中、当社グループでは消費者の皆様に選ばれるブランド作りを推進すると共に、中期経営計画「COLOWIDE Vision 2030」に基づき、中長期的な企業価値の向上に努めております。

国内外食事業につきましては、季節ごとの期間限定メニューによる様々な食事体験を通じて価値向上を図ると共に、特に夏休みの時期には様々なキャンペーンを実施しました。「牛角」では期間限定で実施した「学生グループ限定食べ放題」がご好評を頂き、現在では平日限定の定番メニューとなっております。また黒毛和牛カルビ等の人気商品を何皿注文しても半額になる「夏の焼肉祭り」では、家族連れを含め多くのお客様に楽しんで頂けました。「かっぱ寿司」では“定番商品に込めたこだわり”にスポットを当てた新TVCM「かっぱの挑戦 ACTION」の第二弾を7月から放映し、厳選ネタを一皿110円(税込)から提供する「百十円満点祭り」キャンペーン等と相まって、価格と価値の両面から訴求を行いました。愛知、岐阜など東海エリアを中心に展開するグルメ廻転寿司「にぎりの徳兵衛」の新店舗では、本まぐろや鮮魚の「解体ショー」といったパフォーマンスが好評を博しております。「大戸屋」では、季節食材を使用したメニューや「夏の筋トレ飯」と題した筋トレ系Youtuberとのコラボ企画を実施することで、集客と単価アップを図りました。また関西エリアや全国のロードサイドへの出店も順調に進んでおります。デザート事業では、人気商品『御用邸チーズケーキ』が「OMOTENASHI Selection (おもてなしセレクション) 2025年第1期」を受賞すると共に、“郵便局のネットショップ賞”も同時に受賞しました。これらの評価を通じて、「CHEESE GARDEN」ブランドの認知度と価値がより一層高まっております。

海外外食事業につきましては、既存事業の収益力向上並びに新規出店を鋭意推進しております。そして中東エリアでは「牛角」のフードコート業態「GYU BOSS」の出店を拡大し、ASEANではインドネシアにおいて「牛角」の新規出店に注力しました。下期も順調に新規出店すべく準備を加速させております。

給食事業につきましては、(株)ニフスを中心に組織再編と運営改善を進め、献立の見直しやロス管理等により利益水準の向上を図っております。更に介護施設や病院向けには、グループ内の外食ブランドを活かした商品や、完全調理品と手作りを組み合わせた競争力のある献立を新たに開発し、利用者の体験価値を高めております。9月末における契約拠点数は、契約の見直しと新規拠点開発を進めた結果、520拠点となっております。

サステナビリティへの取り組みとしては、食品の安全管理の取り組みを認証する規格である「JFS規格」の認証取得を推進中です。給食事業の一角を担う(株)ハートフルダイニングでは、「JFS規格(フードサービス・マルチサイト)」の認証を取得しました。これは全国の給食事業者としては初の事例となっております。また宮城県名取市と包括連携協定を締結し、災害時対応や地域活性化等の社会課題の解決に向けた連携も進めております。

店舗の出退店につきましては、国内外食事業において「牛角焼肉食堂」「とんかつ神楽坂さくら」「大戸屋」等の多様なブランドによる出店を進めました。また海外外食事業では、「牛角」及びその派生業態の出店を行いました。その結果、直営レストラン業態46店舗、直営居酒屋業態5

店舗、合計51店舗を出店する一方、直営レストラン業態25店舗、直営居酒屋業態を7店舗、合計32店舗を閉店しております。また2025年6月より連結子会社となった Seagrass Holdco Pty Ltd. の直営店19店舗が加わったため、当中間連結会計期間末の直営店舗数は1,462店舗、FCを含めた総店舗数は2,587店舗となりました。

以上の取り組みを進めて参りました結果、当中間連結会計期間の連結業績につきましては、売上収益が1,414億67百万円、事業利益が54億6百万円、IFRS営業利益が51億21百万円、中間利益が17億86百万円、親会社の所有者に帰属する中間利益が13億18百万円となりました。

当社グループのセグメント別の売上収益につきましては、(株)コロワイドMD490億64百万円、(株)アトム150億10百万円、(株)レインズインターナショナル433億66百万円、カップ・クリエイト(株)370億49百万円、(株)大戸屋ホールディングス177億52百万円、Seagrass Holdco Pty Ltd. 67億62百万円、その他221億76百万円となっております。

尚、各セグメント別の売上収益は、セグメント間の内部売上収益又は振替高等を考慮しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ243億39百万円増加し、3,365億65百万円となりました。これは主に現金及び現金同等物が114億12百万円、営業債権及びその他の債権が25億36百万円減少したものの、のれんが266億92百万円、有形固定資産が62億33百万円、使用権資産が31億8百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ238億84百万円増加し、2,490億1百万円となりました。これは主に社債及び借入金が162億29百万円、リース負債が49億2百万円増加したことによるものです。

資本合計は、前連結会計年度末に比べ4億55百万円増加し、875億63百万円となりました。これは主に利益剰余金が2億62百万円、非支配持分が2億22百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローが138億96百万円、投資活動によるキャッシュ・フローが△251億90百万円、財務活動によるキャッシュ・フローが△35百万円、現金及び現金同等物に係る換算差額が△82百万円となりました結果、前連結会計年度末に比べ114億12百万円減少し、601億25百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税引前中間利益、減価償却費及び償却費によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に連結子会社の取得による支出、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に短期借入金の純増減額、長期借入金の返済による支出、リース負債の返済による支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月9日に発表致しました通期の連結業績予想の数値から変更はございません。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	71,537	60,125
営業債権及びその他の債権	15,512	12,975
その他の金融資産	441	388
棚卸資産	4,349	5,293
未収法人所得税	342	125
その他の流動資産	3,451	3,643
流動資産合計	95,631	82,549
非流動資産		
有形固定資産	52,883	59,116
使用権資産	24,690	27,799
のれん	91,877	118,569
無形資産	13,889	13,301
投資不動産	386	594
その他の金融資産	20,433	20,731
繰延税金資産	12,129	13,334
その他の非流動資産	306	572
非流動資産合計	216,595	254,016
資産合計	312,226	336,565

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	26,665	25,949
社債及び借入金	33,971	55,135
リース負債	14,770	14,492
その他の金融負債	603	493
未払法人所得税	2,092	1,455
引当金	4,258	3,926
契約負債等	385	506
その他の流動負債	11,030	13,713
流動負債合計	93,776	115,669
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	5,733	5,698
社債及び借入金	95,345	90,410
リース負債	19,081	24,261
その他の金融負債	1,041	1,137
引当金	6,409	6,582
繰延税金負債	2,210	3,892
契約負債等	706	593
その他の非流動負債	817	760
非流動負債合計	131,342	133,333
負債合計	225,118	249,001
資本		
資本金	43,814	43,814
資本剰余金	56,576	56,611
自己株式	△109	△94
その他の資本の構成要素	178	99
利益剰余金	△22,922	△22,660
親会社の所有者に帰属する持分合計	77,537	77,770
非支配持分	9,571	9,793
資本合計	87,108	87,563
負債及び資本合計	312,226	336,565

(2) 要約中間連結損益計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上収益	132,199	141,467
売上原価	55,736	57,452
売上総利益	76,463	84,015
販売費及び一般管理費	72,892	78,609
事業利益	3,571	5,406
その他の営業収益	428	502
その他の営業費用	631	787
IFRS営業利益	3,367	5,121
金融収益	453	305
金融費用	2,061	2,120
税引前中間利益	1,759	3,307
法人所得税費用	495	1,521
中間利益	1,264	1,786
中間利益の帰属		
親会社の所有者	385	1,318
非支配持分	879	467
中間利益	1,264	1,786
1株当たり中間利益又は中間損失(△)		
基本的1株当たり中間利益又は中間損失(△) (円)	△1.57	7.13
希薄化後1株当たり中間利益又は中間損失(△) (円)	△1.57	7.13

(3) 要約中間連結包括利益計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間利益	1,264	1,786
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金 融資産	△5	39
純損益に振り替えられることのない項目合計	△5	39
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	42	△221
キャッシュ・フロー・ヘッジ	78	8
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	120	△213
税引後その他の包括利益	115	△174
中間包括利益	1,379	1,612
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	628	1,239
非支配持分	751	372
中間包括利益	1,379	1,612

(4) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 金融資産	キャッシュ ・フロー・ ヘッジ
2024年4月1日残高	27,905	40,532	△126	44	△223
中間利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△1	76
中間包括利益	—	—	—	△1	76
新株の発行	15,909	15,756	—	—	—
自己株式の取得	—	—	△1	—	—
自己株式の処分	—	36	17	—	—
配当金	—	—	—	—	—
非支配株主との取引に係る親会社の 持分変動	—	23	—	—	—
所有者との取引額合計	15,909	15,815	16	—	—
2024年9月30日残高	43,814	56,348	△109	44	△147

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	親会社の所有者に帰属する持分合計		
	在外営業活動体の換算差額	その他の資本の構成要素合計				
2024年4月1日残高	40	△139	△23,219	44,954	9,181	54,135
中間利益	－	－	385	385	879	1,264
その他の包括利益	167	243	－	243	△128	115
中間包括利益	167	243	385	628	751	1,379
新株の発行	－	－	－	31,664	－	31,664
自己株式の取得	－	－	－	△1	－	△1
自己株式の処分	－	－	－	53	－	53
配当金	－	－	△952	△952	△141	△1,094
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	－	－	－	23	9	32
所有者との取引額合計	－	－	△952	30,788	△132	30,656
2024年9月30日残高	207	104	△23,787	76,369	9,800	86,169

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 金融資産	キャッシュ ・フロー ・ヘッジ
2025年4月1日残高	43,814	56,576	△109	67	144
中間利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	26	△2
中間包括利益	—	—	—	26	△2
自己株式の取得	—	—	△0	—	—
自己株式の処分	—	29	15	—	—
配当金	—	—	—	—	—
非支配株主との取引に係る親会社の 持分変動	—	7	—	—	—
所有者との取引額合計	—	35	15	—	—
2025年9月30日残高	43,814	56,611	△94	93	142

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	親会社の所有者に帰属する持分合計		
	在外営業活動体の換算差額	その他の資本の構成要素合計				
2025年4月1日残高	△33	178	△22,922	77,537	9,571	87,108
中間利益	—	—	1,318	1,318	467	1,786
その他の包括利益	△103	△79	—	△79	△95	△174
中間包括利益	△103	△79	1,318	1,239	372	1,612
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	—	—	44	—	44
配当金	—	—	△1,057	△1,057	△161	△1,217
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	—	—	7	10	17
所有者との取引額合計	—	—	△1,057	△1,006	△151	△1,157
2025年9月30日残高	△136	99	△22,660	77,770	9,793	87,563

(5) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	1,759	3,307
減価償却費及び償却費	11,805	12,382
減損損失	104	182
金融収益	△453	△305
金融費用	2,061	2,120
固定資産除売却損益 (△は益)	82	53
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△59	△631
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	1,453	2,848
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△57	△2,036
その他	△2,677	△767
小計	14,020	17,151
利息及び配当金の受取額	134	191
利息の支払額	△1,439	△1,891
法人所得税の還付額	76	145
法人所得税の支払額	△1,169	△1,701
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,622	13,896
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入れによる支出	△6	—
有形固定資産の取得による支出	△5,864	△6,556
有形固定資産の売却による収入	270	344
敷金及び保証金の差入による支出	△385	△475
敷金及び保証金の回収による収入	498	667
連結子会社の取得による支出	△9,735	△18,657
その他	△743	△513
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,965	△25,190
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,114	23,645
長期借入れによる収入	15,200	11,800
長期借入金の返済による支出	△14,245	△23,263
社債の発行による収入	1,464	488
社債の償還による支出	△4,011	△3,649
リース負債の返済による支出	△7,550	△7,842
株式の発行による収入	31,665	—
配当金の支払額	△951	△1,055
非支配株主への配当金の支払額	△141	△159
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,545	△35
現金及び現金同等物に係る換算差額	90	△82
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	18,292	△11,412
現金及び現金同等物の期首残高	46,307	71,537
現金及び現金同等物の中間期末残高	64,599	60,125

(6) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価する為に、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当中間連結会計期間において、Seagrass Holdco Pty Ltd. を連結子会社化し、報告セグメントを新たに追加しております。

上記のセグメント変更に伴い、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に組み替えて表示しております。

当社グループは、主として直営飲食店の運営及びFC事業の展開を行っております。業態の類似性、営業業態の共通性等を総合的に考慮し、「(株)コロワイドMD」、「(株)アトム」、「(株)レインズインターナショナル」、「カップ・クリエイト(株)」、「(株)大戸屋ホールディングス」及び「Seagrass Holdco Pty Ltd.」の6つを報告セグメントとしております。尚、セグメントの経営成績には、「(株)レインズインターナショナル」は子会社24社、「カップ・クリエイト(株)」は子会社4社、「(株)大戸屋ホールディングス」は子会社7社、「Seagrass Holdco Pty Ltd.」は子会社39社を含んでおります。

(株)コロワイドMDは、各種食料品等の商品開発・調達・製造・物流のマーチャンダイジング全般を行っております。

(株)アトムは、「ステーキ宮」、「にぎりの徳兵衛」、「カルビ大将」等のレストラン業態の直営飲食店の運営並びにフランチャイズ本部事業を行っております。

(株)レインズインターナショナルは、「牛角」、「温野菜」、「土間土間」、「かまどか」、「FRESHNESS BURGER」等、国内及び海外においてレストラン業態及び居酒屋業態の直営飲食店の運営並びにフランチャイズ本部事業を行っております。

カップ・クリエイト(株)は、国内及び海外において「かっぱ寿司」等のレストラン業態の直営飲食店の運営及び寿司・調理パン等のデリカ事業を行っております。

(株)大戸屋ホールディングスは、「大戸屋ごはん処」等、国内及び海外においてレストラン業態の直営飲食店の運営並びにフランチャイズ本部事業を行っております。

Seagrass Holdco Pty Ltd. は、オセアニア地域等におけるステーキレストランチェーンの運営を行っております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの会計処理の方法は「会計方針の変更に関する注記」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

(3) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目の金額に関する情報
前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注4)	合計	調整額 (注5)	要約中間 連結財務 諸表計上 額 (注6)
	(株)コロ ワイドMD	(株)アトム	(株)レイン ズインター ナショナル (注1)	カップ・ クリエイ ト(株) (注2)	(株)大戸屋 ホールデ ィングス (注3)	Seagrass Holdeo Pty Ltd.	合計				
売上収益											
外部顧客への売 上収益	1,234	18,203	44,065	36,617	15,026	—	115,146	17,052	132,199	—	132,199
セグメント間の 内部売上収益又 は振替高	45,483	0	1,971	348	36	—	47,838	1,964	49,803	△49,803	—
合計	46,717	18,204	46,036	36,965	15,062	—	162,985	19,017	182,001	△49,803	132,199
セグメント利益	1,646	181	2,840	586	756	—	6,010	△604	5,406	△2,038	3,367
金融収益											453
金融費用											2,061
税引前中間利益											1,759
法人所得税費用											495
中間利益											1,264

(注1) 「(株)レインズインターナショナル」セグメントには、(株)レインズインターナショナル及びその連結子会社が含まれております。

(注2) 「カップ・クリエイト(株)」セグメントには、カップ・クリエイト(株)及びその連結子会社が含まれております。

(注3) 「(株)大戸屋ホールディングス」セグメントには、(株)大戸屋ホールディングス及びその連結子会社が含まれております。

(注4) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ワールドピーコム(株)におけるITシステムの企画・運用・保守、コールセンター事務、(株)シルスマリアにおける生菓子、焼き菓子、チョコレート(生チョコ他)の製造・販売、(株)日本銘菓総本舗及びその連結子会社における洋菓子の製造・販売、(株)ココットにおける事務処理業務、(株)チアーズダイニングにおける飲食店運営、(株)ダブリューピーージャパンにおける飲食店運営、(株)ベイ・フードファクトリーにおける飲食店運営及びFC事業運営、(株)ダイニングエールにおける給食事業運営、(株)ニフス及びその連結子会社における給食事業運営、(株)フューチャーリンクにおけるFC事業運営及び(株)コロワイドサポートセンターにおける労務関連業務となっております。

(注5) 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。またセグメント利益の調整額△20億38百万円には、未実現利益の調整額及び報告セグメントに帰属しない一般管理費等が含まれております。

(注6) セグメント利益は、要約中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注5)	合計	調整額 (注6)	要約中間 連結財務 諸表計上 額 (注7)
	(株)コロ ワイドMD	(株)アトム	(株)レイン ズインター ナショナル (注1)	カップ・ クリエイ ト(株) (注2)	(株)大戸屋 ホールデ ィングス (注3)	Seagrass Holdco Pty Ltd. (注4)	合計				
売上収益											
外部顧客への売 上収益	1,458	15,010	42,682	36,695	17,712	6,762	120,318	21,149	141,467	—	141,467
セグメント間の 内部売上収益又 は振替高	47,606	—	685	354	40	—	48,685	1,027	49,712	△49,712	—
合計	49,064	15,010	43,366	37,049	17,752	6,762	169,003	22,176	191,179	△49,712	141,467
セグメント利益又 は損失(△)	2,538	△156	1,920	850	958	904	7,013	400	7,413	△2,292	5,121
金融収益											305
金融費用											2,120
税引前中間利益											3,307
法人所得税費用											1,521
中間利益											1,786

(注1) 「(株)レインズインターナショナル」セグメントには、(株)レインズインターナショナル及びその連結子会社が含まれております。

(注2) 「カップ・クリエイト(株)」セグメントには、カップ・クリエイト(株)及びその連結子会社が含まれております。

(注3) 「(株)大戸屋ホールディングス」セグメントには、(株)大戸屋ホールディングス及びその連結子会社が含まれております。

(注4) 「Seagrass Holdco Pty Ltd.」セグメントには、Seagrass Holdco Pty Ltd. 及びその連結子会社が含まれております。

(注5) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ワールドピーコム(株)におけるITシステムの企画・運用・保守、コールセンター事務、(株)シルスマリアにおける生菓子、焼き菓子、チョコレート(生チョコ他)の製造・販売、(株)N Baton Company及びその連結子会社における洋菓子の製造・販売、(株)ココットにおける事務処理業務、(株)コロワイドダイニングにおける飲食店運営、(株)ダブリューピーージャパンにおける飲食店運営、(株)ベイ・フードファクトリーにおける飲食店運営及びFC事業運営、(株)ニフス及びその連結子会社における給食事業運営、(株)ハートフルダイニングにおける給食事業運営、(株)フューチャーリンクにおけるFC事業運営及び(株)コロワイドサポートセンターにおける労務関連業務となっております。

(注6) 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。またセグメント利益の調整額△22億92百万円には、未実現利益の調整額及び報告セグメントに帰属しない一般管理費等が含まれております。

(注7) セグメント利益は、要約中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(4) 地域別に関する情報

売上収益及び非流動資産の地域別内訳は以下の通りであります。

前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

①外部顧客への売上収益

(単位：百万円)

日本	北米	アジア	オセアニア	合計
115,649	8,809	7,740	—	132,199

②非流動資産（金融商品、繰延税金資産及び保険契約から生じる権利を除く）

(単位：百万円)

日本	北米	アジア	オセアニア	合計
161,889	19,032	2,913	—	183,834

当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

①外部顧客への売上収益

(単位：百万円)

日本	北米	アジア	オセアニア	合計
119,114	8,228	7,940	6,184	141,467

②非流動資産（金融商品、繰延税金資産及び保険契約から生じる権利を除く）

(単位：百万円)

日本	北米	アジア	オセアニア	合計
187,835	20,569	4,298	7,249	219,951

(5) 主要な顧客に関する情報

前中間連結会計期間及び当中間連結会計期間において、当社グループは一般消費者向けの事業を営んでおり、当社グループの売上収益の10%以上を占める単一の外部顧客（グループ）は存在しない為、記載を省略しております。

(会計方針の変更に関する注記)

本要約中間連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、以下を除き、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

IFRS		新設・改訂の概要
IAS第21号	外国為替レート変動の影響	通貨が他の通貨と交換可能でない場合の要求事項を明確化

当該基準の適用による要約中間連結財務諸表に与える影響はありません。